

アクションプラン <重点目標を達成するための具体目標と数値指標>

○ 重点目標を達成するための具体目標・数値指標と方策

【友愛】 生徒指導面

目指す生徒像	品位があり、友愛の精神に満ちた生徒
具体目標 数値指標	自他共に大切にしながら、目標を達成するために、協力して諸活動に取り組める生徒 80%以上
目指す生徒の 具体的な姿	・相手を意識して、元気な挨拶や返事ができる生徒 ・丁寧に清掃に取り組むことができる生徒 ・目標をもち、周りと協力して諸活動に取り組む生徒
課題	周りと協力し、自分の役割をしっかりと果たそうと努力する生徒が多い。一方で目標を設定したり、既存のものをよりよくしようと試行錯誤したりする様子は少なく、全体的に受動的な面がある。挨拶・清掃等の取り組みも他者からの促しがないとなかなかできない生徒も見られる。
方策	◇挨拶の意義について考える機会を設け、相手に喜んでもらえる挨拶や返事を実践することを通して、そのよさを実感できる場を設定する。 ◇清掃の意義について考える機会を設け、誰とでも互いに協力して清掃に取り組むことを通して、そのよさを実感できる場を設定する。 ◇生徒自身が活動を企画、運営し、それらの振り返りを共有する機会を設け、個々のよさについて自覚したり、互いに認め合える場を設定する。

【創造】 学習指導面

目指す生徒像	自ら学び、創造的な知性を身に付けた生徒
具体目標 数値指標	課題解決に向けて粘り強く取り組み、学びの振り返りを次に生かすことのできる生徒 80%以上
目指す生徒の 具体的な姿	・主体的に学習に取り組む生徒 ・周りと関わり合って、自分の考えや学習方法を見直すことのできる生徒 ・学習を通して身に付いた力を実感し、次に生かそうとする生徒
課題	協働的に学習に取り組んでいると感じている生徒は多い。一方で、他者の意見を参考にして自分の考えを見直したり、異なる意見を擦り合わせて、新たな考えを生み出したりできる生徒は少ない。
方策	◇提案授業や校内研修を行い、生徒の学習状況の改善策について協議をしたり、各自の実践について情報交換を行ったりして、指導の改善を図る。 ◇生徒が関わり合う必要性和感じるような活動を授業に取り入れる。 ◇振り返りや既習事項の確認を行ったり、教科横断的に能力の活用を図ったりするなど、生徒が身に付けた力を実感できる場面を設ける。

【剛健】 保健指導面

目指す生徒像	望ましい生活習慣を身に付けた生徒の育成
具体目標 数値指標	自分でメディアコントロールを行い、規則正しい生活を送ることができる生徒 80%以上
目指す生徒の 具体的な姿	・自分の体調を管理しながら、望ましい生活習慣（食事、睡眠）を定着させる生徒 ・メディアの利用について、自ら数値目標を設定し、コントロールできる生徒
課題	生徒は規則正しいリズムで生活を送っていると感じているが、実態は異なり、メディアの利用により、睡眠時間が少ない生徒、就寝時間が遅い生徒がいる。メディアの利用をコントロールすることが望ましい生活習慣の定着につながると考え、自らのメディアの利用を見直す機会が必要である。
方策	◇生徒アンケートやゲンキッズの結果から生徒の実態を把握し、問題点を明らかにする。 ◇生徒の実態に応じた保健指導や生徒会活動、学年・学級活動を中心とした生徒の自主的・主体的な取組を推進する。 ◇保護者や小中学校のPTAと連携を図り、メディアコントロールの講演会を設けるなど、中長期的な視点から指導を推進する。